

# 平成21年3月期 第3四半期決算短信(非連結)

平成21年1月30日

上場取引所 東

上場会社名 ダイニチ工業株式会社

コード番号 5951 URL <http://www.dainichi-net.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉井 久夫

問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長 (氏名) 酒井 春男

TEL 025-362-1101

四半期報告書提出予定日 平成21年2月13日

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成21年3月期第3四半期の業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

### (1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	15,625	—	1,395	—	1,483	—	730	—
20年3月期第3四半期	13,765	△18.6	1,575	△38.2	1,646	△39.1	979	△39.5

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	40.38	—
20年3月期第3四半期	52.35	—

### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第3四半期	24,988	21,348	85.4	1,196.45
20年3月期	24,347	21,391	87.9	1,153.09

(参考) 自己資本 21年3月期第3四半期 21,348百万円 20年3月期 21,391百万円

## 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	0.00	—	18.00	18.00
21年3月期	—	0.00	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	18.00	18.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成21年3月期の業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,500	12.2	900	13.8	890	6.2	320	△34.4	17.74

(注)業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

## 4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、2ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)詳細は、2ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第3四半期 19,058,587株 20年3月期 19,058,587株

② 期末自己株式数 21年3月期第3四半期 1,215,005株 20年3月期 507,515株

③ 期中平均株式数(四半期累計期間) 21年3月期第3四半期 18,099,656株 20年3月期第3四半期 18,713,445株

### ※ 業績予想の適切な利用に関する証明、その他特記事項

1. 上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により上記予想数値と異なる場合があります。

業績予想に関する事項は、2ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 業績予想に関する定性的情報をご参照ください。

2. 当事業年度より、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

## 定性的情報・財務諸表等

### 1. 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、米国サブプライムローン問題に端を発した世界的な金融不安を背景に、米国の景気後退や急激な円高・株安により企業収益が悪化し、個人消費や設備投資も低迷したため、景気が一段と悪化いたしました。

当社の主力分野であります石油暖房機器業界におきましては、灯油価格の低下という追い風がありましたが引き続き厳しい状況で推移いたしました。

このような経済状況のもとで、当社は新商品の開発と積極的な営業活動を展開するとともに、製造原価の低減に努めました。

その結果、売上高は156億25百万円（前年同期比13.5%増）、営業利益は13億95百万円（前年同期比11.4%減）、経常利益は14億83百万円（前年同期比9.9%減）、四半期純利益は7億30百万円（前年同期比25.4%減）となりました。

※前年同期比は参考として記載しております。

### 2. 財政状態に関する定性的情報

#### (1) 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期末の総資産は、主に売上債権の増加により、前事業年度末に比べ6億40百万円増加し、249億88百万円となりました。負債は主に未払法人税等の増加による流動負債の増加により、前事業年度末に比べ6億82百万円増加し、36億39百万円となりました。純資産は四半期純利益による利益剰余金の増加があったものの、自己株式取得により、前事業年度末に比べ42百万円減少し、213億48百万円となり、自己資本比率は85.4%となりました。

#### (2) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、売上債権の増加等の要因により、前事業年度末に比べ30億69百万円減少し、36億13百万円となりました。

当第3四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

##### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は20億74百万円となりました。これは主に、売上債権の増加額88億27百万円、たな卸資産の減少額45億34百万円、税引前四半期純利益12億45百万円によるものであります。

##### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は2億62百万円となりました。これは主に、投資有価証券の売却4億15百万円による資金の増加があったものの、投資有価証券の取得4億58百万円、有形固定資産の取得2億33百万円による資金の減少によるものであります。

##### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は7億32百万円となりました。これは主に、自己株式取得による支出3億99百万円、配当金の支払額3億33百万円によるものであります。

### 3. 業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、平成20年5月9日に公表した数値を、平成20年10月24日に修正しておりますが、その後は変更はなく、売上高165億円、営業利益9億円、経常利益8億90百万円、当期純利益3億20百万円であります。

### 4. その他

#### (1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

##### ① たな卸資産の評価方法

当第3四半期会計期間末のたな卸高の算出に関しては、実地たな卸を省略し、当第2四半期会計期間末の実地たな卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

#### (2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

② 通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、主として総平均法による原価法によっておりましたが、第1四半期会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号）が適用されたことに伴い、主として総平均法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）により算定しております。

これにより、当第3四半期累計期間の営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益は、それぞれ65百万円減少しております。

(追加情報)

- ① 当社の機械及び装置の耐用年数については、第1四半期会計期間より、法人税法の改正を契機として見直しを行い、耐用年数13年のものを10年に変更しております。

これにより、当第3四半期累計期間の営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益は、それぞれ22百万円減少しております。

5. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成20年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,610,530	5,171,656
受取手形及び売掛金	11,679,635	2,851,872
有価証券	3,266	1,511,607
製品	1,667,225	5,845,309
原材料	560,587	867,717
仕掛品	62,090	102,416
繰延税金資産	232,358	265,025
その他	83,932	95,326
貸倒引当金	△23,400	△5,700
流動資産合計	17,876,228	16,705,232
固定資産		
有形固定資産		
建物 (純額)	1,711,827	1,804,973
土地	1,458,335	1,458,335
その他 (純額)	1,268,549	1,567,540
有形固定資産合計	4,438,712	4,830,849
無形固定資産		
投資その他の資産	27,472	30,490
投資有価証券	2,181,464	2,405,637
繰延税金資産	423,504	323,346
その他	47,121	56,566
貸倒引当金	△6,050	△4,308
投資その他の資産合計	2,646,040	2,781,241
固定資産合計	7,112,224	7,642,582
資産合計	24,988,453	24,347,814

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成20年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	796,567	698,513
未払法人税等	564,357	337,968
賞与引当金	68,877	198,561
製品保証引当金	359,200	302,000
その他	919,743	572,486
流動負債合計	2,708,745	2,109,529
固定負債		
再評価に係る繰延税金負債	135,770	135,770
退職給付引当金	137,389	69,104
役員退職慰労引当金	654,600	642,300
その他	3,000	—
固定負債合計	930,759	847,175
負債合計	3,639,504	2,956,705
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,058,813	4,058,813
資本剰余金	4,526,572	4,526,572
利益剰余金	13,807,570	13,410,667
自己株式	△886,171	△486,794
株主資本合計	21,506,785	21,509,259
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△57,309	△17,622
土地再評価差額金	△100,527	△100,527
評価・換算差額等合計	△157,837	△118,150
純資産合計	21,348,948	21,391,109
負債純資産合計	24,988,453	24,347,814

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位:千円)

	当第3四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
売上高	15,625,951
売上原価	11,686,246
売上総利益	3,939,705
販売費及び一般管理費	2,544,521
営業利益	1,395,184
営業外収益	
受取利息	34,475
受取配当金	18,377
作業屑収入	45,680
複合金融商品評価益	19,060
その他	34,366
営業外収益合計	151,960
営業外費用	
売上割引	53,488
その他	9,743
営業外費用合計	63,232
経常利益	1,483,911
特別利益	
投資有価証券売却益	6,723
特別利益合計	6,723
特別損失	
固定資産除却損	17,992
投資有価証券売却損	858
投資有価証券評価損	226,506
特別損失合計	245,357
税引前四半期純利益	1,245,277
法人税、住民税及び事業税	555,000
法人税等調整額	△40,544
法人税等合計	514,455
四半期純利益	730,821

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当第3四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税引前四半期純利益	1,245,277
減価償却費	607,688
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	12,300
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	19,442
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△129,684
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	68,284
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	57,200
投資有価証券評価損益 (△は益)	226,506
受取利息及び受取配当金	△52,853
売上債権の増減額 (△は増加)	△8,827,921
たな卸資産の増減額 (△は増加)	4,534,303
仕入債務の増減額 (△は減少)	98,053
未払消費税等の増減額 (△は減少)	259,627
預り金の増減額 (△は減少)	△105,037
前受金の増減額 (△は減少)	1,625
その他	180,943
小計	△1,804,242
利息及び配当金の受取額	55,117
法人税等の支払額	△325,784
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△2,074,909</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
有形固定資産の取得による支出	△233,167
投資有価証券の取得による支出	△458,647
投資有価証券の売却による収入	415,462
その他	13,678
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△262,672</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
配当金の支払額	△333,388
自己株式の取得による支出	△399,377
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△732,765</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	880
<b>現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)</b>	<b>△3,069,467</b>
現金及び現金同等物の期首残高	6,683,264
<b>現金及び現金同等物の四半期末残高</b>	<b>3,613,796</b>

当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期損益計算書

前第3四半期累計期間(平成19年4月1日～12月31日)

科目	前年同四半期 (平成20年3月期 第3四半期)
	金額(千円)
I 売上高	13,765,304
II 売上原価	9,496,245
売上総利益	4,269,059
III 販売費及び一般管理費	2,693,643
営業利益	1,575,415
IV 営業外収益	127,419
V 営業外費用	56,334
経常利益	1,646,500
VI 特別利益	23
VII 特別損失	70,965
税引前四半期純利益	1,575,558
法人税、住民税及び事業税	594,000
法人税等調整額	1,998
四半期純利益	979,559

## (2) (要約) 四半期キャッシュ・フロー計算書

前第3四半期累計期間 (平成19年4月1日～12月31日)

	前年同四半期 (平成20年3月期 第3四半期)
区分	金額 (千円)
<b>I 営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税引前四半期純利益	1,575,558
減価償却費	517,372
減損損失	34,376
役員退職引当金の増加額	19,500
貸倒引当金の増加額	8,800
賞与引当金の減少額	△134,417
退職給付引当金の増加額	48,262
製品保証引当金の増加額	36,400
受取利息及び受取配当金	△47,617
売上債権の増加額	△4,444,998
棚卸資産の減少額	926,293
仕入債務の減少額	△257,246
未払消費税等の増加額	211,018
預り金の減少額	△649,441
前受金の減少額	△391,415
その他	247,037
小計	△2,300,518
利息及び配当金の受取額	53,201
法人税等の支払額	△15,634
営業活動によるキャッシュ・フロー	△2,262,951
<b>II 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
有形固定資産の取得による支出	△466,847
有形固定資産の売却による収入	2,666
投資有価証券の取得による支出	△111,797
投資有価証券の売却による収入	100,592
その他	△9,311
投資活動によるキャッシュ・フロー	△484,697
<b>III 財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
自己株式取得による支出	△278,277
配当金の支払額	△338,899
財務活動によるキャッシュ・フロー	△617,177
<b>IV 現金及び現金同等物に係る換算差額</b>	△306
<b>V 現金及び現金同等物の減少額</b>	△3,365,131
<b>VI 現金及び現金同等物の期首残高</b>	5,285,801
<b>VII 現金及び現金同等物の四半期末残高</b>	1,920,669